



どすこい! 大相撲

11月12日から26日にかけて行われた大相撲九州場所。本町では先日、大相撲の力士を招いてこども相撲教室が開催されました。今回は、教室の様子と参加した木瀬部屋の力士、そして益城町の相撲の歴史を特集でお届けします。

人気力士が指導 こども相撲教室

11月3日、「阿蘇くまもと空港周辺こども相撲教室」が町民グラウンド相撲場で開催されました。

年中から小学6年生を対象としたこの教室は、空港周辺4カ町村(益城町・大津町・菊陽町・西原村)と各町村教育委員会の共催。強い希望によりオープン参加を認めた中学生を含め、各町村から約90人の参加者が集いました。

教室には、指導者として木瀬部屋の力士4人が参加。四股や、すり足などを指導しました。床山による力士の髪結いが披露された後に行われた、子どもたちの勝ち抜き相撲では、力士たちが見守る中、熱戦が繰り広げられました。

教室の最後を飾るのは、力士と子どもたちのかかり稽古。果敢に挑む子どもたちを力士が軽々と持ち上げたり、子どもたちが協力して力士に勝利したりと、会場を沸かせました。